

FP working group (subgroup) 会合議事録

日 時：昭和45年9月10日午後1時30分～5時30分

場 所：日本原子力研究所東京本部第1会議室

出席者：中島（法大），末広（東大），瑞慶覧（日立）

記録：瑞慶覧

議題

1. 作業経果報告
2. FP yield data の FORMAT 決定
3. 今後の作業計画について（自由討論）

報告および討論内容

1. FP yield の計算値と実験値を比較し、計算モデルの改良を行なう段階にきている。そこで、収集された実験データを計算機で処理できるような一定の data FORMAT にしたがつて compile しておく必要がある。*Macdonald*
2. 1968年頃までの実験データを収録してある APED-5398-A の値を *Ridder* コンパイルし、それ以降の新しいデータを追加していくことにする。処理し易く、また、記入しやすい data FORMAT として次のものに決定した。

DATA FORMAT

First card

item 1 1 colm. ~ 6 colm. : *YIELD

" 2 7 " ~ 10 " : EXP

Second card

item 3 1 colm. ~ 5 colm. : FP の親核の元素記号

" 4 6 " ~ 10 " : EP の質量数

" 5 10 " ~ 12 " : decay FORMAT

Third card

item	6	1 colm. ~ 3 colm.	:	FP の元素記号
"	7	4 "	:	decay FORMATにおける番号
"	8	5 " ~ 10 "	:	入射中性子のエネルギー, (ev)
"	9	11 " ~ 12 "	:	yield data の数
"	10	13 " ~ 14 "	:	yield の種類
"	11	15 " ~ 17 "	:	その data がのっている文献名
"	12	18 " ~ 24 "	:	yield の値 (%)
"	13	25 " ~ 30 "	:	yield の誤差 (%)
"	14	70 " ~ 72 "	:	third card から sequence NO.

(以下, yield data が 3 個以上の場合は, item 7~13 をくりかえす。)

3.
 - ① recommended yield data は Thermal, 2 MeV, 14 MeV で与える。
 - ② energy dependence は interpolation code で指定する。
 - ③ 2 で決定した FORMAT に実際にデータを記入してみて, 問題点がな
いかどうかを確認してみる。もし, 問題があれば瑞慶覧が改訂版を作成
して, 関係者に配布する。
 - ④ energy dependence をチェックするため STUFF を run する必要
があるか, どうかを検討する。